
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 142 号(2024.10.18)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力！

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 142 号をお届けします。

-----第 142 号の目次-----

1 活動組織の活動紹介

☆^{たきの はな}滝ノ鼻地区農地・水・環境保全会（^{そうらくぐんせいかわ}京都府相楽郡精華町）☆
自治会や子供会と連携することで、地域ぐるみで共同活動が実施されています！

☆^{しょうす}清水集落活動組織（富山県富山市）☆
イノシシ対策や耕作放棄地の復元を行うことで、営農環境の維持に努めています！

2 代表者へのインタビュー

☆^{そうさ}匝瑳里地里山保全会（^{そうさし}千葉県匝瑳市）☆
トウキョウサンショウウオをシンボルとして、環境保全の取組に力を入れています！
活動組織の代表者の方にインタビューを行いました！

☆^{おき つる}沖の津留地区保全管理組合（^{さいきしなかわ}大分県佐伯市直川）☆
昔ながらの風景を守りたいという想いの下、平成 19 年から本交付金を活用した共同活動を実施しています。活動組織の役員の方にインタビューを行いました！

3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

☆^{くにさき}国東地域広域協定・^{なかだ}中田地区（^{くにさき}大分県国東市^{くにさきちやう}国東町）☆
写真を多用した広報誌を回覧し、日々の共同活動や役員会などの内容を構成員に共有しています！

【編集後記】

■ 1. 活動組織の活動紹介(1)

たきの はな
～滝ノ鼻地区農地・水・環境保全会(京都府相楽郡精華町)～
そうらくぐんせいちょう

～ 地区概要 ～

滝ノ鼻地区は、精華町の最北端に位置し、旧来の農村風景が残る集落と昭和・平成時代に開発された宅地が併存する地区です。

活動範囲は田 20.4 ha、農道 2.7 km、水路 5.1 km であり、地区内農地の約9割は、ほ場整備が完了しています。

～ 主な取組 ～

- ◎ 本組織は、高齢化や後継者不足などの課題がある中、農業者だけでなく自治会や子供会役員も構成員となり、地域ぐるみで農地維持活動や農村環境保全活動を行っています。
- ◎ 農地の草刈り、農道舗装、水路の浚渫等の活動の他に、地域の子供会と協働して、地区内の農道や水路の清掃活動、農業収穫体験等を実施しています。活動を通じて地域住民が農業と触れ合うことで、気運を醸成しています。
- ◎ また、令和5年5月には「地域農業のあり方検討会議」を立ち上げ、農業者アンケートや意見交換を実施し、3年間の検討期間で、10年先を見通した地域農業のあり方について方向性をまとめているところです。
- ◎ 地域の農村風景を保全していくためには地域ぐるみで農業を支える取組が必要であるため、今後も、農業者以外の地域住民とも連携して活動を行っていきます。



共同活動（農道の舗装）



子供会との清掃活動



農業収穫体験（えんどう豆）

【京都府山城広域振興局地域づくり振興課】

編集担当 SDGs コメント

地域の子供会と協働して、区域内の農道や水路の清掃活動、農業収穫体験等を実施されていることから、目標 16（多様な主体の参画による地域づくりを促進する）に貢献する活動が行われています。また、農業者アンケートや意見交換を実施され、10 年先を見通した地域農業の在り方について考えておられることから、目標 12（持続可能な生産・消費を進める）にも貢献しています。

これからも、地域住民との連携等により、更なる地域農業の活性を応援しています。



■ 1. 活動組織の活動紹介(2) ～^{しょうづ}清水集落活動組織(富山県富山市)～ ■

～ 地区概要 ～

清水集落は富山市南西部の中山間地域に位置し、農地は丘陵上を切り開いた棚田になっています。主に水稻を栽培していますが、近年はソバやリンゴなど多品種化を進めています。活動範囲は、田 45.9 ha、畑 16.8 ha、農道 19.5 km、水路 47 km、ため池 7 箇所です。

～ 主な取組 ～

- ◎ 本組織は、過疎高齢化が進む中山間地域の農地を維持しつつ、農業環境を向上させることを目指して、3つの集落が合同して活動しています。
- ◎ 重点的な活動として、イノシシ被害対策を行っています。農地周辺に電気柵を設置したり、イノシシに掘削された土砂で水路が埋められることを防止するため、自作のコンクリート蓋を設置したりしています。コンクリート蓋については、これまでに管理水路の約9割に設置が完了しました。
- ◎ 耕作放棄地の復元や、不在地主の農地の維持管理にも取り組み、ソバの圃場として耕作を再開させています。
- ◎ この復元活動には県の農村サポーター事業を活用し、地域外の個人や企業にも参加していただいています。また、農業体験などの都市住民との交流事業も行い、中山間地域における農業、生活環境に触れてもらうことで農業環境の維持への理解向上や地域



電気柵の設置



自作の水路蓋の設置



耕作放棄地の復元



都市住民との交流事業

の魅力向上を図っています。

編集担当 SDGs コメント

電気柵の設置や水路の土砂閉塞防止策としてコンクリート蓋を設置することは、持続可能な農業生産を支えることに繋がるため、目標2（持続可能な農業生産を支える。）に貢献しています。

今後も本活動を継続することで、より良い農業環境がつくられることを応援しています。



■2. 活動組織の代表者へのインタビュー(1)

～^{そうさ}匝瑳^{そうさ}里地里山保全会(千葉県^{そうさ}匝瑳市)～■

活動組織の概要

匝瑳市の市街地近傍にあり、豊かな自然環境の中で 1,300 年前より受け継がれた谷津田が多く残る地域です。近年では有機栽培に取り組み、自然環境に優しい農法で、地域の自然環境を保全しています。また、里山に生息するハイケボタルやトウキョウサンショウウオの保全活動も行っており、観察会などを実施することで地域住民との交流を行っています。

活動範囲は、田 144 ha、対象施設は水路 111.5 km、農道 44.9 km です。令和元年度から共同活動に取り組んでいます。

～ インタビュー ～

Q：活動組織を立ち上げたきっかけを教えてください。

A：農業者の減少や高齢化が進む中、辛い草刈り作業などの保全活動を実施してきました。そのようなときに多面的機能支払交付金を知り、地域の保全活動に活用したいと考え、組織を設立し活動を開始しました。今では交付金事業も地元で根付き、地元の人にも非常に喜ばれており、交付金の活用を始めてから参加者が増加しています。



左：齊藤寛さん（代表者）

右：八木幸市さん

Q：どのような活動をしているか教えてください。

A：里山に生息するトウキョウサンショウウオやハイケボタルなど貴重な生物の保全活動を千葉県野生生物研究会や地元の高校生と連携して実施しています。

有機農業や減農薬栽培に取り組むとともに、地区内の農家の協力を得て、農地周辺への農薬使用を減らすなど、地域の環境に対する意識を高めています。保全活動と合わせて、観察会を実施しており、地区外からも多くの方に参加いただいています。



自然観察会

また、小学校と連携して田植えや稲刈りなどの農業体験も実施しています。収穫した米は調理実習で使用されており、子供たちへの農業教育にも力を入れています。

Q：特に力を入れている活動は何ですか。

A：生態系の保全や有機農業など、昔ながらの自然を守る活動に力を入れて取り組んでいます。

当該地区では、昔から水田の山際に排水用の溝を掘るのですが、これがトウキョウサンショウウオの産卵場所に適しており、サンショウウオの生息域となってきました。このことから人間と生物は共存していることがわかります。何気ない農家の作業も貴重な生物の住処になるなど、里山の大切さや農業と生物の関りなど、次の世代に伝えていきたいと考えています。



稲刈り体験



里山風景

Q：活動組織の代表として心掛けていることはありますか。

A：農業面については代表が、環境保全については地元の千葉県野生生物研究会の方が担当し、二人で車の両輪となって運営しています。構成員も気心が知れた人ばかりであり、仲良く風通しの良い運営を心掛けています。

Q：全国の活動組織のリーダーへ伝えたいことはありますか。

A：地域にはそれぞれ特徴があると考えています。

当該地域では、トウキョウサンショウウオの生息が確認され、生態系保全のシンボルとしていますが、まだ各地では残っている自然はあると思います。地域の自然をよく観察し、地域にあった活動に取り組まれると良いと考えます。地域の宝である里山を是非次世代に引き継いでいただきたいと思います。



トウキョウサンショウウオ

■2. 組織役員へのインタビュー(2)

～^{おき}沖の^{つる}津留地区保全管理組合(大分県^{さいきしなかわ}佐伯市直川)～■

活動組織の概要

活動範囲：田 5.8 ha、畑 0.2 ha
対象施設：水路 2.4 km 農道 0.3 km
活動開始時期：平成 19 年度

～ インタビュー ～

- 話し手：会長 松田 寿美男さん
事務局長 平野 憲司さん
- 聞き手：松田伸也
- 実施日：令和6年6月7日
- 実施場所：沖の津留地区 現地

Q：役員に就いたきっかけを教えてください。

A：平成 19 年に組織の立ち上げの話があり、
加入することを引き受けました。

Q：役員を引き受ける際に抵抗はありませんでしたか？

A：普段から様々な活動に携わっているので、
抵抗はありませんでした。

Q：役員として心掛けていることを教えてください。

A：常に地区の人と話し合いをし、賛同を得た上で活動を進めています。

Q：特に力を入れて取り組んでいる活動内容はありますか？

A：自然環境の保全を通して社会貢献活動を行っています。昔ながらの景観を守りたいという思いがあります。

Q：活動を行って良かったことを教えてください。

A：子供たちが地区に遊びに来てくれることです。より一層、地区の管理や手入れに力を入れるようになりました。



「沖の津留地区の全景」
環境負荷の少ない農業を行ってきたこと
で、トノサマガエルやゲンゴロウな
ど多様な生物が生息している。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：有機農業の栽培面積を増やし、自然環境保全の場として様々な機関に提供を行いたいです。

【水土里ネット大分：松田 伸也】

編集担当 SDGs コメント

共同活動の一環として、自然環境の保全活動を行うことで目標 4（地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する）に貢献しています。また、有機農業の推進を行っていることから目標 12（持続可能な生産・消費を進める）にも貢献しています。地域の皆さんが活動を活性化させ、地域を守っていくことを今後も応援します！



■3. 活動組織の広報誌紹介

～^{くにさき}国東地域^{な かに だ ち く}広域協定・中田地区(大分県^{くにさきしくにさきまち}国東市国東町)～■

広報誌・自治会だよりの概要

- ◇ 組織の活動内容をまとめた「広報誌」を年に4回（春・夏・秋・冬）作成し、自治会の回覧と一緒に回覧しています。
- ◇ 四季に行った作業の報告（施設点検から広域協定での総会の報告）を順次行っており、構成員の皆さんに組織の活動が見えるようにしています。

～ 工夫しているポイント ～

- ポイント1：文章を読みやすく 12 ポイント以上で記載するよう工夫しています。
- ポイント2：普段の活動だけでなく、役員会や研修会の内容も入れるよう工夫しています。
- ポイント3：構成員が季刊誌に載るように写真を多く使うとともに、写真に日付を入れて年間の作業時期がわかりやすくなるように工夫しています。

ポイント1 文章を読みやすく 12 ポイント以上！

高齢者が多く文字が小さいと読みにくいいため、12 ポイント以上で記載することで記事が読みやすくするよう工夫しています。

中田環境保全組合季刊誌 春季号 令和4年5月20日

年度当初の施設点検

4月25日(土) 8時～

年度初めの農業施設の機能・安全点検を7名の役員で行いました。

最初にため池(尻池や中池)の樋(取水口)や土手の状況を点検。特に異常は認めませんでした。

次に堀田堰や新涯堰に移動。堀田堰では長寿命化工事予定の用水路(河川外サイフォン)の現地確認。

続いて防草シートの設置箇所。昨年度の数設工事に続く候補地(急傾斜、モアが使用にくい、省力に役立つ)を点検して歩きました。

それから塗装をやり替えた中堰の水門開閉設備や向田堰、さらに舗装が必要な農道(下中田)等の点検を行いました。



中田環境保全
ニュース
環境保全組合
広報委員会
春季号

ポイント2 役員会の報告！

普段の活動だけでなく、役員会や研修会の報告も簡潔に入れるよう工夫しています。

中田環境保全組合掲示板 令和6年 8月20日

令和6年度交付金
2,071,336円

交回代金は八月一日国東地域協定第二回代表者会議があたりました。

作業状況です。

回覧
中田環境保全
広報
夏季号

老人クラブ 6/10

下中田 6/11、12

ため池管理組合 6/2

中村 7/6

下中田 7/8

7/9

上中田班 7/7

消防団 7/13

ポイント3 写真を多く使い、作業日も入れる！

構成員が季刊誌に載るように写真を多く使うとともに、写真に日付を入れて年間の作業時期がわかりやすくなるように工夫しています。

■ 編集後記 ■

読者の皆様、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。今回のメールマガジンのインタビュー記事では、希少なトウキョウサンショウウオの保全を行っている活動組織を紹介しました。地域全体で有機農業など、生き物に配慮した農業を行っていただけるということで、このような取組が全国に広がればいいなあと思いました！
次回のメールマガジンもお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300 字程度）等に関するメールをお待ちしています！！

tamen_ml@maff.go.jp



高めよう 地域協働の力！

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：青木、土田）
TEL：03-3502-8111（内線 85683）